

会 議 録

会議の名称	平成20年度第1回健康づくり推進協議会
開催日時	平成20年9月25日(木) 午後1時30分～午後3時
開催場所	清須市役所 本庁舎 3階 中会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 市長あいさつ 2 委嘱状の伝達、委員の紹介 3 清須市健康づくり推進協議会設置要綱の説明 4 会長及び副会長の選任 5 協議事項 6 意見交換 7 おわりのことば
会議資料	<p>会議次第</p> <p>資料1 清須市健康づくり推進協議会委員名簿</p> <p>資料2 清須市告示第47号清須市健康づくり推進協議会設置要綱</p> <p>資料3 統計よりみた清須市の状況</p> <p>資料4 清須市の健康づくり事業</p> <p>資料5 清須市保健事業概要</p> <p style="padding-left: 2em;">母子保健事業 資料5 - 1</p> <p style="padding-left: 2em;">成人保健事業 資料5 - 2</p> <p>参考資料 20年度母子・成人・高齢者保健事業日程表 特定健康診査・特定保健指導の概要 (厚生労働省広報資料) 清須市国民健康保険加入者用チラシ及び案内</p>
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	0人
出席委員	森委員、深尾委員、山口委員、小川委員、渡邊(藏)委員、石塚委員、伊藤(統)委員、関委員、伊藤(千)委員、渡邊(靖)委員、近藤委員、福田委員、井上委員
欠席委員	江口委員
出席者(市)	加藤市長、伊藤健康福祉部長
事務局	〔健康推進課〕成田課長、田中課長補佐、森川副主幹、武居係長 〔高齢福祉課〕寺社下係長

会議の経過

《要旨》

1 市長あいさつ

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。日頃は清須市の行政に格別のご協力をいただき感謝申し上げます。

事故米が報道されています。市の給食は愛知県学校給食から購入していますが厚巻卵に事故米を含んでいたとの連絡を受けました。餃子事件の際にも愛知県学校給食から連絡が入っています。加工食品においては、給食センターでのチェックは難しい状況があります。監視員・専門員の配置が必要ですが難しいため、どこを経由して加工したのか文書でもらうことを実施しています。

さて、清須市におきましては、総合計画において清須市の将来像を「水と歴史に織りなされた安心・快適な環境都市」と定め、健康で思いやりのあるまちづくりを目指して、医療体制・健康づくり環境の充実や母子保健の充実など、生涯を通じた市民の健康づくりの推進に努めているところであります。

また、皆さんご承知のように、今年度から国の医療制度改革の一環として、健康づくりの取り組みの一つであるメタボリックシンドローム対策を主眼においた特定健康診査を医療保険者が行うこととなり、さらに個人個人に応じた生活習慣の改善を促す保健指導も行われることになりました。

今後は、生活習慣病対策が医療費の削減という観点からも保健医療の中心となってまいります。市民の健康づくりには、個人のみならず家庭、学校、職域や地域が一体となって取り組む工夫が求められるものと考えております。

本日は、日頃ご自身で考えておられる健康づくりや市として取り組んで欲しいことなど、忌憚のないご意見をいただき、今後の健康づくり事業の参考とさせていただきたいのでよろしくをお願いします。

2 委嘱状伝達及び委員の紹介

委嘱状は各自の卓上に配布。資料1 委員名簿により紹介。

3 清須市健康づくり推進協議会設置要綱

事務局より資料2により説明。

特に質疑はなし。

4 会長及び副会長の選任

事務局一任の発言あり。委員全員の承認により、会長に深尾委員、副会長に伊藤委員を選出する。

5 協議事項

会長より会議録署名委員として、森委員及び山口委員を指名する。

(1) 清須市統計よりみた清須市の状況…資料3

(2) 清須市の健康づくり事業…資料4、資料5 - 1、資料5 - 2

(3) 特定健診・特定保健指導について…参考資料

事務局より資料及び参考資料に基づき説明する。

6 意見交換

福田委員

年齢、性別、職域でいろいろ格差がありますが、すべての人が健康であることが大切です。市として11月3日の「水辺の散策路事業」について、組織や小学校・幼稚園等への啓発はどのように考えていますか。

事務局

企画政策課が水辺の散策路ウォーキングフェスティバルを11月3日に行う予定です。市が主催し県のウォーキング協会に呼びかけ実施します。保健所とタイアップしていく計画があります。

福田委員

啓発方法として他の市町では小学生がポスターを描き健康推進協議会等の名前を入れ掲示しています。稲沢市が取り組んでおりより広く健康づくりのPRが出来ると思います。市としても考えてもらえると良いと思います。

事務局

今後の啓発方法として協議し検討していきたいと思います。

井上委員

資料3の4ページ、年齢階級別受診率の医療費としてはどのくらいかかっているのでしょうか。

事務局

19年5月診療分のデータを持っています。本日は手元に資料がないため、すぐに回答できません。次回ご報告させていただきます。

井上委員

市民一人ひとりが医療にどのくらい使っているのか知らせていくことは、医療費を考える上で必要であると思います。

インフルエンザワクチンを接種して医療費が減ったということは聞いたことがあるが、どれくらい減ったか聞いたことがない。現実には調べられませんが。

事務局

次回、この報告はさせて頂きたいと思います。

渡邊(藏)委員

特定健康診査が始まりましたが、健診の受診状況はいかがですか。

事務局

医療機関での個別健診が9月末で終了しますが、医療機関には追い込みの申し込みがあると聞いております。この後、集団健診を行います。2割の受診率を見込んでいます。

小川委員

参考資料の特定健康診査のチラシの表現ですが、「是非受けましょう」を「必ず受けましょう」の方が良いと思います。「また連絡ください」とは連絡だけでよいのか？持参なのか？わかりにくい。1か月以内に、かかりつけ医で検査を実施後に、特定健康診査を受けるのは、国保の予算の費用の無駄遣いにならないよう考えていただきたい。

事務局

他機関で検査を実施した場合、検査項目が不足の場合があるため、健診を勧めたほうが良い場合もあります。そのため連絡をいただいた時、確認を行っています。

文面が柔らかすぎるので、もっとストレートな表現のほうが良いというご指摘ありがとうございます。

ございます。

深尾会長

老人保健法から健康増進法となり、普及啓発や健康増進事業が不十分ではないか。健康診査の受診日等、もっと受けやすくなるよう考慮して欲しい。

近藤委員

資料5 - 1の 母子健康相談事業の中の乳幼児健康相談の19年度実績では、回数が36回1,550人の利用があったのに20年度、12回に減らした理由は何でしょうか。

事務局

同じ方の利用が多かったこと、事業数も増えたため、会場も巡回し月1回としています。1回の利用が43名程から73名程に増えています。

近藤委員

資料4年齢階級別受診率では、20歳代から精神に関する疾患が上位に入っています。心の健康を視野に入れて考えることは重要な時代になっていると思いますが、若年者健康診査の内容を見ると心の健康度のチェックを行っていないため、どのように考えてみえますか。

事務局

心の健康は健康診査の中で取り組めていない状況です。心の健康を見る指標やアンケート等もありますので、これから検討していきたいと思います。

資料5 - 2の健康相談事業として、心の健康事業として「心の相談」や随時相談、家庭訪問を行っています。愛知県の心の健康事業も充実してきています。

精神保健福祉の啓発資料も作成し配布や資料の設置等啓発を進めているところです。

伊藤(統)委員

子どもや小学生の運動の取り組みはありますか。子どもたちの外遊びが不足していると感じています。

事務局

子どものころからメタボリック予防が大切です。市では親子を対象とした運動・栄養に関する教室を夏休みに開催しましたが15組の参加でした。魅力ある事業にしていくにはどうしたらよいかまたご意見を頂きたいと思います。生涯学習としての視点となると健康推進課だけではできないので、担当課とも連絡を図りたいと思います。

福田委員

子どもの運動不足を何とかしようと考えても、子ども自身がスポーツをするという気持ちがないと怪我のもとになります。また、文部科学省がコミュニティスクールを今年度新たに210校指定するという新聞記事を見ました。地域で考え運営していく取り組みです。

石塚委員

実施主体はわかりませんが、小学校を通じて「サタデーキッズ」という催しがあります。応募が多い場合は参加できないときもあります。

福田委員

生涯学習課が行っています。

伊藤(統)委員

市になって広くなり、友達が参加していないと参加しにくいようです。地域ごとで開催してもらいたいです。

福田委員

いろいろな事業を生涯学習で行っていますが、知識がないと難しいため、講師等に来てもらい教室運営をしています。年間6～7つ開催し評判のいいものをまた次年度取り入れています。

深尾会長

子ども医療費の支給ですが師勝保健所管内だけ低い状況です。名古屋市は小学校6年生まで外来の医療費支給がされており、自治体によって無料と有料が分かれています。

石塚委員

小学校6年生まで無料だと助かります。

深尾会長

歯科健診結果通知で受診勧奨の通知がそのままになっている人がいます。健康管理に対する意識の差があります。

伊藤(統)委員

幼稚園の頃のほうが病気が多いですね。できれば小学生は無料のほうがいいと思います。

山口委員

中間層の年齢の方が、事業に誘っても、どうしても行かれない。そういう方の対応を考えていただきたい。土曜・日曜の開催は難しいですね。

事務局

特定健康診査は医療機関によって土曜・日曜も受診可能なところがありますので、是非ご利用頂きたいと思います。

関委員

阿原に住んでいますが、ここ2か月で3名の自殺がありました。自殺をなくすような指導やPRを考えていただけないかと思います。

渡邊(靖)委員

赤ちゃん訪問を実施していて外国人の方が増えており、言葉が通じないため大変困っています。対応マニュアルを作っていただきたい。また、うつ症状の方も多いと思います。人に会いたがらず、どうしようもない状況です。いい案はありませんか。

深尾会長

ひきこもりも含めて考えないといけませんね。

伊藤副会長

今年度、食生活改善推進員を養成していただきありがとうございました。食べることはとても大切だと思っています。土田かぼちゃの料理コンテストがあり、初めて土田かぼちゃを食べました。スーパー等に「地元産コーナー」等あったら地域の啓発にもなると思いました。

深尾会長

多くの意見ありがとうございました。時間も過ぎてまいりましたのでここで終了にしたいと思います。

事務局

本日の協議内容について再度確認し考えられることは検討していきたいと思います。

次回は1月頃を予定しています。本日の会議は以上で終了いたします。

ありがとうございました。

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するためここに署名する。

署名委員

森 宏 明

山口 富美代

会議の結果

審議に関する事項はなし

問い合わせ先

健康福祉部 健康推進課

052 - 400 - 2811 内線3160